

●●VOL.2

ヨコレイNOTE

第62期中間報告書 (平成20年10月1日～平成21年3月31日)

ヨコレイの事業紹介

冷蔵倉庫事業

【物流センターの素顔(圏央地区)】 ————— P3

食品販売事業

【サバ・ビジネスにおける強み】 ————— P5

ごあいさつ ————— P1

営業の概況 ————— P2

中間連結財務諸表 ————— P7

特別コラム【ヨコレイくんが行く!『頑張るヨコレイVOL.①』】 — P8

会社概要・株式の状況・役員及び執行役員 ————— P9

ネットワーク ————— P10



証券コード：2874



ごあいさつ



YOKOHAMA REITO Co., Ltd.
Company Profile

熱い仕事 横浜冷凍

安全で豊かな
“食生活”を支えることが、
ヨコレイの使命です。

冷蔵倉庫事業

食材を中心に、お客様からお預かりした貨物を最適な条件下で保管し、先進の物流・情報システムにより、ジャスト・イン・タイム物流の一翼を担っています。

食品販売事業

国内外の様々な食材を手掛け、輸出入を含む仕入から販売までを一貫して行うことにより、信頼性の高い食の供給に貢献しています。



代表取締役社長
吉川俊雄

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

第62期中間期の当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況で推移しました。世界同時不況の影響により個人消費が低迷するなか、畜肉相場の急激な下落や食品表示問題の発生による物流量の減少に見舞われました。

こうした状況のもと、当社グループは冷蔵倉庫事業、食品販売事業ともにサービスの高度化と新規需要の開拓に努めました。冷蔵倉庫事業では北九州地区の配送網の構築を進め、食品販売事業ではバンコック駐在員事務所の認可を取得する一方、畜肉部門を一元管理する畜産事業部を新設しました。また平成20年12月には、当社グループのうなぎ事業の規模拡大を見据えて、業界トップクラスの扱い量を誇る株式会社セイワフードを子会社化いたしました。

景気回復への出口が見えないなか、今後も厳しい経営環境が続くものと思われませんが、当社グループは平成20年11月に発表した新中期経営計画に基づき、「多彩な物流サービスの積極提案」と「原料サプライヤーとしての機能の強化」を進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。



営業の概況

→ 当中間期の概況

事業別売上高の内訳

当中間期(平成21年3月期)

売上高合計

54,978百万円

(注) その他事業収入16百万円を除く



当中間期において、当社グループは、平成20年11月に発表いたしました新中期経営計画(3ヵ年)の事業方針に基づき、冷蔵倉庫、食品販売の両事業部門ともに更なるサービスの高度化や新規需要の開拓に積極的に取り組んで業績の向上に努めてまいりました。

しかし、昨年10月以降の急激な畜肉相場下落の影響により、食品販売事業の売上高及び利益が減少した結果、売上高は54,995百万円(前年同期比 11.7%減)、営業利益271百万円(前年同期比 87.1%減)、経常利益392百万円(前年同期比 82.3%減)、有価証券評価損等の特別損失158百万円もあり、中間純利益は166百万円(前年同期比 86.3%減)となりました。

なお、当中間期から、新たに連結対象子会社となった株式会社セイワフードが含まれています。

→ 通期の見通し

食品販売事業において畜肉相場の急激な下落に伴う処分損等により上期業績が予想数値を下回る結果となりました。

当社グループでは、引き続き新中期経営計画の事業方針を軸に業績の向上に取り組んでまいります。当面は厳しい事業環境が続くものと思われまます。

通期の業績見通しにつきましては、下期において上期での減少額を取り戻すことは厳しいと判断し、前回公表いたしました通期業績予想を平成21年5月11日に修正いたしました。

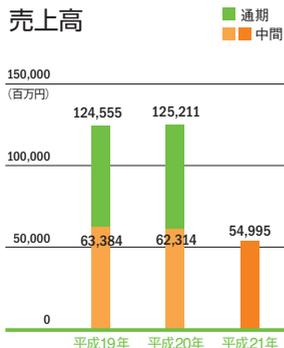
修正後の通期の連結業績見通しにつきましては、

通期連結業績予想

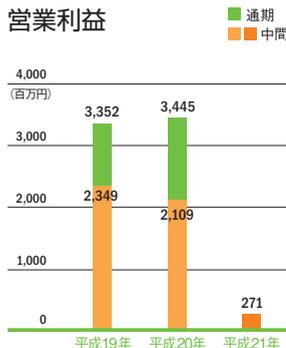
売上高	118,630 百万円
営業利益	1,865 百万円
経常利益	2,070 百万円
当期純利益	1,000 百万円
1株当たり当期純利益	19円31銭

を予想しております。

売上高



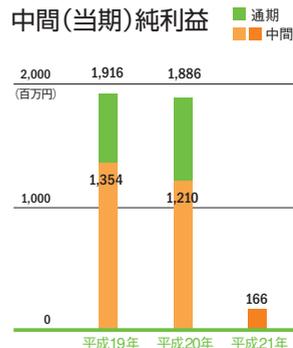
営業利益



経常利益



中間(当期)純利益





ヨコレ伊の事業紹介 冷蔵倉庫事業

物流センターの素顔（圏央地区）

「圏央道」の発展とともに、首都圏の物流の要衝として、最新設備「環境保全」の取り組みの一環として、グリーン経営認証を取得し



「圏央地区」とは？

東京都心から半径40～60kmの位置に走る首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の周辺地域を指します。

横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津などの主要都市を結ぶ総延長300kmのこの環状道路は、東京から放射状に延びる東名、中央、関越、東北、常磐、東関東の高速道路や東京湾アクアライン、東京外かく環状道路など一体となることで首都圏の産業活力の向上が期待されています（現在は、八王子JCT-川島IC間、つくばJCT-稲敷IC間、木更津東IC-木更津JCT間が開通しています）。

加須物流センター



加須第二物流センター



鶴ヶ島物流センター



伊勢原物流センター



圏央地区の展開



沿革

ヨコレ伊の「広域首都圏物流ネットワーク構想」のもと、圏央道の整備に伴う利便性の向上を睨み、平成11年8月に加須物流センターをオープンしました。その後、新たな物流ニーズに応えていくために、最新の設備を備えた鶴ヶ島、伊勢原、加須第二の各物流センターも次々に完成し、圏央地区の営業体制の集約を進めています。

【特徴】

- 圏央道と主要幹線道路を結ぶ拠点に物流センターを設置しています。
東北自動車道→加須物流センター、加須第二物流センター
中央自動車道、関越自動車道→鶴ヶ島物流センター
東名、第二東名高速道路→伊勢原物流センター
- 今後、首都圏の物流が圏央道の整備によって急速に拡大することが予想されるため、これに備えた収容能力をもって、多様な顧客ニーズに対応していきます。

を取り揃えた地域密着型の物流を展開しています。
ています。

冷蔵収容能力1万8,592トン



ヨコレの総合物流基地的な機能を装備した「内陸型」の物流センターとして、平成11年8月に誕生しました。

立地は東北自動車道加須インターの至近距離で、北関東を中心に首都圏を見据えた物流拠点として最適な位置にあります。

常温倉庫を含む多温度対応倉庫の特徴を活かした高品質な物流業務を、食品メーカー等に提供しています。

冷蔵収容能力2万2,594トン



加須物流センターに隣接する当センターは、お客様の幅広い保管・物流ニーズにお応えするために平成19年8月にオープンしました。

流通加工室、多目的ピッキングルームに加え、自社最大級の移動棚ラックを保有しています。お客様の利便性を追求した、圏央地区で最も新しい物流センターです。

冷蔵収容能力2万2,286トン



平成15年8月にオープンした当センターは、圏央道、中央道、関越道へのアクセスの利点を活かした、関東・東北・上信越方面の広域ネットワーク拠点としての機能を有しています。

今後は、更に運送・通関機能を充実させて高品質なサービスを提供し、お客様の業務効率化とニーズにお応えしていきます。

冷蔵収容能力2万4,339トン



神奈川県の中中部に位置し、東名高速厚木インターの至近距離にある「伊勢原歌川産業スクエア」内に平成17年8月にオープンしました。建設予定の圏央道とつながることにより、更に広域なネットワークを持つ物流拠点となることが期待されています。

多様な貨物の流通形態をカバーする冷凍・冷蔵・定温・常温の四温度帯対応で、お客様のニーズに合った流通加工を提供する物流センターです。

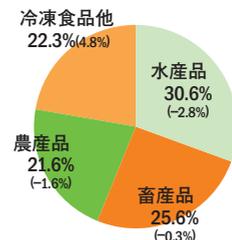
当中間期の業績

当中間期末の冷蔵設備保管収容能力は、第1四半期末と変化はなく708千トンです。

期初からブロック体制を強化した集荷活動を実施したものの、個人消費低迷の影響により荷動きが鈍い状況が続きました。国内入出庫取扱量は前年同期比で約20千トン減少し、平均保管在庫量は11.2%増加となり、保管料収入の増加で荷役料収入の減少をカバーし、前年同期に比べ売上高は増収となりました。前期に新設した物流センターなどの減価償却費負担（前年同期に比べ119百万円増）等により前年同期と比べ営業利益は減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は前年同期比3.7%増収の9,942百万円、営業利益は前年同期比10.4%減益の1,977百万円となりました。

当中間期在庫量品目別割合 ()は前年同期比



売上高

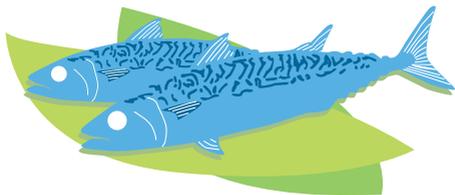


営業利益





ヨコレイの事業紹介 食品販売事業



わが国最大の水産集積地・銚子

平成20年に全国1位となる25万トン以上の魚が水揚げされた銚子の魅力は、加工業者や冷凍冷蔵業者など買受人の数が全国有数であること、並びに保管施設や運送体制といった水産事業に関わるインフラが完備されていることです。



銚子営業所

ヨコレイの銚子営業所は昭和60年(1985年)、銚子漁港にほど近い場所に開設されました。以来25年にわたって業容の拡大に努め、現在では幅広い魚種を扱う「産地型」の営業所として最大級の規模を誇っています。

「人を育てることが事業発展の条件」という方針の一例として、男の世界という印象が強い水産業界にあって、ヨコレイ全社でも数少ない女性営業マンが、ここ銚子で主として輸出用国産サバの買付に敏腕を振るっています。

また、水揚げされた魚の鮮度チェックのほか、冷凍冷蔵業者及び加工業者への品質管理を日々徹底しています。

長年の経験と浜で鍛えた「目利き」によって、銚子営業所のサバ・ビジネスは今日も発展を続けています。



サバ・ビジネスにおける強み

ノルウェーサバの輸入から、国産サバの輸出まで、躍動感あふれるグローバルビジネスを展開しています。

日本人には馴染みの深いサバですが、そのビジネスが世界的な規模で動いていることをご存知の方は少ないかもしれません。銚子沖で獲れた小型の国内需要の少ないサバが韓国や東南アジア、はるかアフリカまで届けられる一方で、日本人に好まれる脂の乗った大型のサバがノルウェーから輸入されて日本の食卓に上がっています。



サバ・ビジネスの流れと特徴

輸入



銚子営業所が仕入れるノルウェーサバは、トレーサビリティによる品質管理体制を整えた信頼できる現地パッカーにより、高い安全性を実現しています。



買い付けたノルウェーサバの多くは、通関を終えたのちに銚子地区で加工されます。

輸出

銚子営業所では、国内で冷凍・加工したサバを韓国、中国、東南アジア、アフリカ等に専門商社を通じて輸出しています。近年、銚子地区におけるサバの水揚げ量が大幅に増加し、価格面での国際競争力が高まったことから、良質な国産サバに対する海外からの引き合いが急増しています。



韓国市場

国内の消費者は9月後半から12月に漁獲された脂の乗ったサバを好む傾向にあります。海外でも国産サバが好まれており、ヨコレイではこうした高まる需要に対応しています。

ヨコレイのサバ・ビジネスの強み

- サバに関する情報ネットワークの構築
- 自社直質ルートに加えて、有力な専門商社とのパートナーシップの確立
- 専任担当者が仕入から販売までを一貫して行うことで培われた豊富な商品知識
- 厚い信頼関係に基づく販売力
- 信頼できる現地パッカーの選定から販売までのトレーサビリティによる品質管理



年間6万トンが輸入されるノルウェーサバ。そのうち約4万トンが銚子の加工業者を経由して全国に出荷されています。ヨコレイ銚子営業所も専門商社を通じて高品質のサバを取り扱っており、銚子屈指の原料サプライヤーとなっています。

ノルウェーサバは加工業者のもとから全国に配送されます。銚子営業所では加工業者向けの原料販売に加えて大手量販店への直販ルートの開拓も行い、売上げの拡大に努めています。



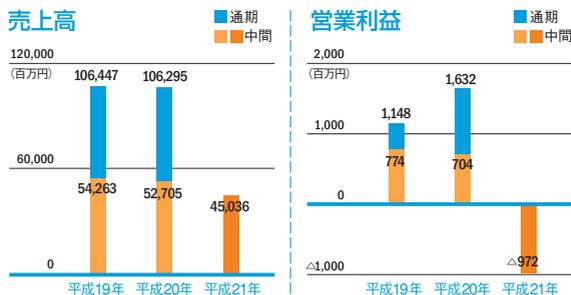
銚子漁港に水揚げされる年間約13万トンの国産サバのうち輸出されるサバも増加傾向にあり、銚子営業所もその一翼を担っています。

銚子営業所の担当者は、加工業者や商社のニーズと、サバのサイズ・品質・価格の双方を勘案しながら輸出用サバの買付交渉に臨んでいます。

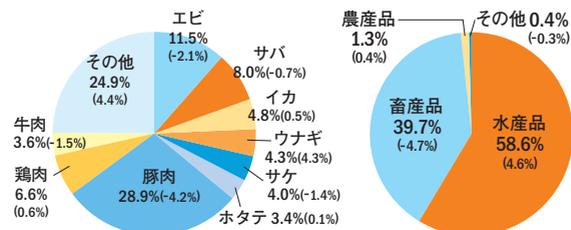
当中間期の業績

当中間期は、昨年10月以降の国内消費需要の長期低迷に加えて急激な為替変動という厳しい事業環境で推移しました。農産品は販路拡大に注力した結果、順調に推移しましたが、畜産品相場の急激な下落に伴う処分損、また水産品は主力品目のエビ等は増益となるが、秋鮭の不漁等の要因による減益をカバーできず、売上高及び利益は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高は前年同期比14.6%減収の45,036百万円、営業損益は畜産品等の早期在庫処分及びたな卸資産評価損の計上により972百万円の営業損失(前年同期は704百万円の営業利益)となりました。



品目別売上高構成比 ()は前年同期比





中間連結財務諸表（要約）

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	第62期中間期	第61期中間期
		平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
資産の部			
流動資産		28,915	24,189
固定資産		54,253	51,117
有形固定資産		45,406	44,794
無形固定資産		3,174	1,722
投資その他の資産		5,671	4,600
資産合計		83,169	75,307
負債の部			
流動負債		18,562	18,325
固定負債		9,526	1,025
負債合計		28,089	19,351
純資産の部			
株主資本		54,921	55,156
資本金		11,065	11,065
資本剰余金		11,109	11,109
利益剰余金		33,241	33,436
自己株式		△ 495	△ 454
評価・換算差額等		△ 110	469
其他有価証券評価差額金		57	474
繰延ヘッジ損益		1	△ 9
為替換算調整勘定		△ 168	4
少数株主持分		268	330
純資産合計		55,080	55,956
負債純資産合計		83,169	75,307

CHECK POINT

固定資産の増加

(株)セイワフード株式取得(連結子会社化) …… 2,500百万円
 大阪市事業用土地取得 …… 984百万円

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	第62期中間期	第61期中間期
		平成20年10月1日から平成21年3月31日まで	平成19年10月1日から平成20年3月31日まで
売上高		54,995	62,314
売上原価		51,858	57,457
売上総利益		3,137	4,856
販売費及び一般管理費		2,866	2,747
営業利益		271	2,109
営業外収益		236	153
営業外費用		115	45
経常利益		392	2,218
特別利益		35	0
特別損失		158	56
税金等調整前当期純利益		270	2,162
法人税、住民税及び事業税		45	882
法人税等調整額		48	60
少数株主利益		10	10
中間純利益		166	1,210

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	第62期中間期	第61期中間期
		平成20年10月1日から平成21年3月31日まで	平成19年10月1日から平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,026	4,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,749	△ 3,467
財務活動によるキャッシュ・フロー		7,405	△ 477
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 15	△ 2
現金及び現金同等物の増減額		1,613	239
現金及び現金同等物の期首残高		2,183	1,294
現金及び現金同等物の中間期末残高		3,796	1,533



特別コラム



今号から新シリーズ
「頑張るヨコレイ」が始まるよ。
ヨコレイはもっと良い会社になるために、
いろいろなことを頑張っているらしい。
そんなヨコレイの現場を
ぼくと一緒に訪ねてみよう!

ヨコレイくんが行く!

頑張るヨコレイ VOL. ①

『5S活動』

「5S」とは?

ヨコレイはいま、「5S活動」に全社を挙げて取り組んでいるんだ。「5S」とは、「整理」「清掃」「整頓」「清潔」「しつけ」という「S」で始まる5つの活動のこと。「しつけ」は決められたことを守ることだ。

この活動で、安全な職場環境をつくったり、衛生的な保管環境を実現したり、作業効率を高めたりしているんだ。



作業場内

毎日の取り組みが大切。

事業所では毎日、担当者がチェックリストを手に職場を回って、気づいたところをすぐに改善している。その積み重ねで、社員の安全意識や品質意識がますます向上してきたよ。

おっと、向こうからスクラバーがやってきた



スクラバー

ぞ。通路もピカピカだ。お客様の品物を大切に保管するために、きれいな環境づくりに配慮しているんだね。

成果を競い合う。

「5S活動」の励みになっているのが「労働安全全国5S大会」。全社でもっとも優れた「5S優秀事業所」を認定・表彰する大会で、今年も4月に開催された。

第1位になった事業所の活動を模範にすべての社員が頑張ることで、会社全体のレベルアップを図っているんだ。



今年の「労働安全全国5S大会」の表彰式

ヨコレイが
頑張っているところは
まだまだたくさんあるよ。
次回も楽しみに
してね。





会社概要 (平成21年3月31日現在)

会社名 横浜冷凍株式会社
 本社所在地 〒220-0022
 横浜市西区花咲町六丁目145番地 横浜花咲ビル7階
 TEL：045-326-1010(代表) FAX：045-326-1145

設立 昭和23年5月13日
 資本金 11,065,926,625円
 従業員数 928名

業務内容
 1.冷蔵倉庫業並びに普通倉庫業
 2.水産品の加工、販売並びに輸出入
 3.農畜産物の加工、販売並びに輸出入
 4.不動産賃貸業
 5.貨物運送取扱事業並びに貨物自動車運送事業
 6.食堂及び喫茶店の経営並びに飲食物の販売
 7.その他前各号に付帯関連する一切の事業
 (定款における事業目的)



役員及び執行役員 (平成21年3月31日現在)

代表取締役社長	吉川俊雄	雄次
専務取締役	小林隆	明
取締役	水野裕	澄
取締役	藤田敏	正
取締役	飯島敏	彦
取締役	西山敏	文
取締役	安岩明	文
取締役	中岩西	文
常勤監査役	吉久保	知男
常勤監査役	大久保	孝一
監査役	中崎正	彦
執行役員	井上藤	司
執行役員	須藤崎	己
執行役員	笹達	等
執行役員	安岩倉	徹
執行役員	竹村	人



株式の状況 (平成21年3月31日現在)

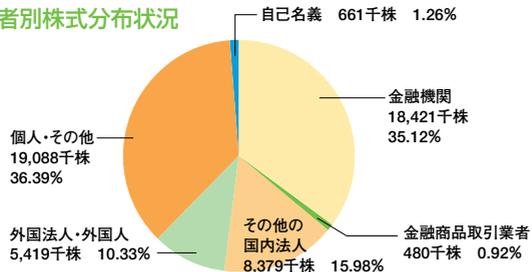
発行可能株式総数 160,000,000株
 発行済株式の総数 52,450,969株
 株主数 12,718名

大株主(上位10名)

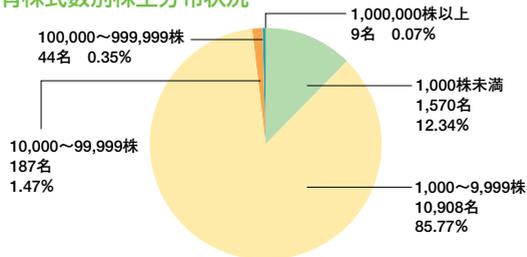
大株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,334	10.30
第一生命保険相互会社	3,109	6.00
株式会社横浜銀行	2,176	4.20
タイヨーパールファンドエルピー	1,834	3.54
農林中央金庫	1,473	2.85
株式会社八丁幸	1,411	2.73
シービーエヌワイデイエフエイインターナショナル キャップバリューポートフォリオ	1,059	2.04
株式会社サカタのタネ	1,022	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	989	1.91
横浜冷凍従業員持株会	964	1.86

(注) 出資比率は自己株式(661,267株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況





ネットワーク (平成21年4月1日現在)

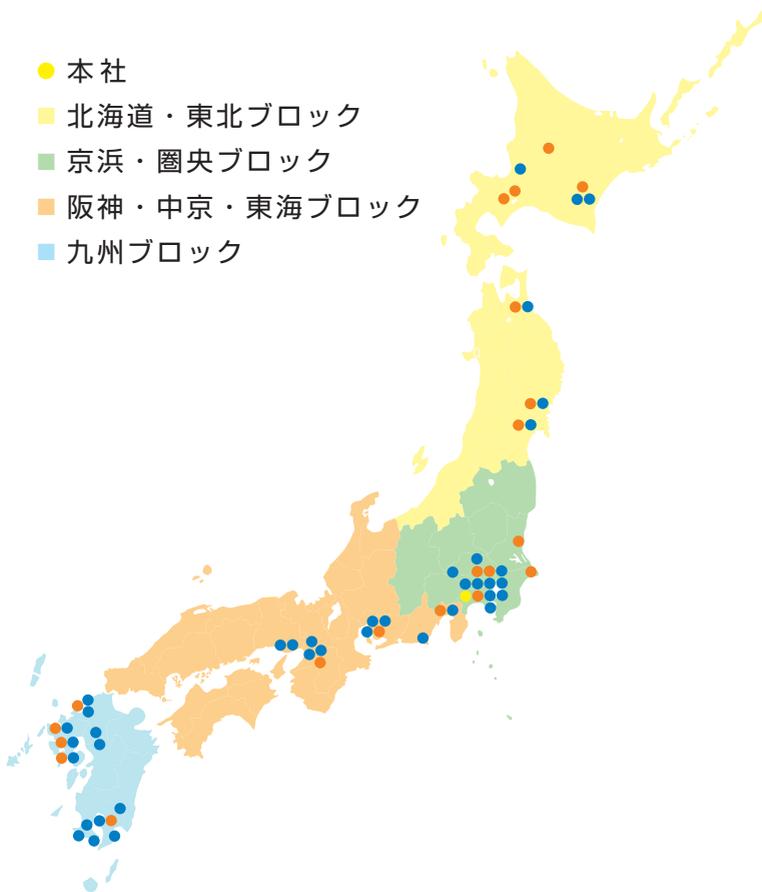
● 食品販売事業

- | | | | |
|------------|----------|----------|---------------|
| ■ 水産事業部 | ■ 八戸営業所 | ■ 横浜営業所 | ■ 長崎営業所 |
| ■ 北海道水産事業部 | ■ 気仙沼営業所 | ■ 沼津営業所 | ■ 佐世保営業所 |
| ■ 畜産事業部 | ■ 仙台営業所 | ■ 名古屋営業所 | ■ 鹿児島営業所 |
| ■ 農産事業部 | ■ 茨城営業所 | ■ 大阪営業所 | ■ 留寿都出張所 |
| | ■ 銚子営業所 | ■ 福岡営業所 | ■ 旭川出張所 |
| | ■ 東京営業所 | ■ 唐津出張所 | ■ バンコック駐在員事務所 |

● 冷蔵倉庫事業

- | | |
|--------------|--------------|
| ■ 十勝物流センター | ■ 中川物流センター |
| ■ 十勝第二物流センター | ■ 大阪物流センター |
| ■ 石狩物流センター | ■ 西淀物流センター |
| ■ 八戸物流センター | ■ 舞洲物流センター |
| ■ 気仙沼冷凍工場 | ■ 神戸物流センター |
| ■ 仙台物流センター | ■ 六甲物流センター |
| ■ 加須物流センター | ■ 福岡物流センター |
| ■ 加須第二物流センター | ■ 箱崎物流センター |
| ■ 鶴ヶ島物流センター | ■ 鳥栖物流センター |
| ■ 東京物流センター | ■ 鳥栖第二物流センター |
| ■ 東京第二物流センター | ■ 唐津冷凍工場 |
| ■ 大黒物流センター | ■ 長崎冷凍工場 |
| ■ 横浜物流センター | ■ 佐世保冷凍工場 |
| ■ 子安物流センター | ■ 都城物流センター |
| ■ 山内物流センター | ■ 志布志物流センター |
| ■ 伊勢原物流センター | ■ 鹿児島物流センター |
| ■ 沼津物流センター | ■ 川辺物流センター |
| ■ 大井川物流センター | ■ 枕崎冷凍工場 |
| ■ 小牧物流センター | ■ 山川冷凍工場 |
| ■ 名古屋物流センター | |

- 本社
- 北海道・東北ブロック
- 京浜・圏央ブロック
- 阪神・中京・東海ブロック
- 九州ブロック



● 連結子会社

- 株式会社セイワフード
- タイヨコレイ株式会社

株主メモ

事業年度	10月1日より翌年9月30日まで
定時株主総会	12月
基準日	定時株主総会の議決権 9月30日 剰余金の期末配当 9月30日 剰余金の中間配当 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
公告の方法	電子公告 ※電子公告は当社ホームページに掲載いたします。 なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 http://www.yokorei.co.jp/kessan.html
単元株式数	1,000株
上場取引所	東京証券取引所(第1部)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711(フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆さまの声を聞かせください。

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2874

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

IRサイトのご紹介

http://www.yokorei.co.jp/index_IR.html

当社は、ホームページを重要な情報発信源の一つと認識しており、投資家の皆さまの理解を助けると判断した情報は、随時ホームページに掲載しております。ぜひ、ご活用ください。



- 投資家の皆様へ
- IRスケジュール
- 株価情報
- 会社情報
- 決算短信
- 株主優待
- IRライブラリ
- など

なお、会社案内、採用情報等につきましては<http://www.yokorei.co.jp/>(メインHP)に掲載しております。